

～防災・減災のために備えること～

令和6年1月1日16時10分に能登半島を震源とする、最大震度7の大地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。

小平町においては、被害はありませんでしたが、今後いつどこで発生するかわからない大災害に備え、日頃から防災・減災に対する備えが大切となります。

【地震火災を防ぐポイント】

★事前対策

- ①住まいの耐震性を確保しましょう。
- ②家具等の転倒防止対策（固定）を行いましょ。
- ③感震ブレーカーを設置しましょ。
- ④ストーブ等の暖房機器の周辺は、整理整頓し可燃物を近くに置かないようにしましょ。
- ⑤住宅用消火器を設置し、使用方法について確認しましょ。
- ⑥住宅用火災警報器を設置しましょ。

震度と揺れ等の状況(概要) ※気象庁震度階級関連解説表から抜粋

震度4 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる	震度6弱 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある
震度5弱 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある	震度6強 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える
震度5強 固定していない家具が倒れることがある	震度7 耐震性の低い鉄筋コンクリート造りの建物では、倒れるものが増える

★地震直後の行動

- ⑦停電中は電気器具のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜き、避難するときはブレーカーを落としましょ。
- ⑧石油ストーブや石油ファンヒーターからの油漏れの有無を確認しましょ。

★地震発生からしばらくして

- ⑨ガス機器、電気器具及び石油器具の使用を再開するときは、機器に破損がないこと、近くに燃えやすいものがないことを確認しましょ。
- ⑩再通电後は、しばらく電気器具に異常がないか注意を払いましょ。(煙、におい)

【非常用持ち出しバックの準備】

自宅が被災した場合、避難生活を送ることとなります。

あらかじめ非常用持ち出しバックを準備し、持ち出せるようにしておきましょ。

※バックに入れる物の例

飲料水、食料品（非常食）、貴重品、携帯ラジオ、衣類、懐中電灯、携帯トイレ、常備薬、ウェットティッシュなど。乳幼児のいるご家庭は、ミルク、紙オムツなども用意しておきましょ。



【自助・共助・公助】

災害の被害を軽減するためには、「自助・共助・公助」が不可欠です。

「自助」とは、一人ひとりが自ら取り組むこと。

「共助」とは、地域や身近にいる人どうしが一緒に取り組むこと。

「公助」とは、国や地方公共団体などが取り組むこと。



紙面に関するお問い合わせ
火災予防に関するご相談は

留萌消防組合小平消防署 管理課 予防保安係

電話: 56-2221 FAX: 56-9022

